

## 令和 2 年度当初予算知事審査における主要な議論

### (県民生活部)

#### ■ 彩の国いきがい大学の刷新による人生 100 年シニア活躍支援事業費 (B13)

知 事 ライフデザイン学部は、現行のいきがい大学と何が違うのか。  
担当部局 まず、今まで以上に地域に出やすくなる。カリキュラムの中にフィールドワークや就業体験があり、こうした体験をしながら、自分に何が合うのか見定め、その後の地域活動につなげていく。

知 事 地域創造学部について、起業を支援する組織、商工会議所や創業ベンチャー支援センターなどとの棲み分けは。

担当部局 経済的に採算の取れるものは創業ベンチャー支援センターなどで対応してもらい、こちらはいわゆるソーシャルビジネスのように、多少採算が合わなくても社会貢献的に対応していただくという棲み分けである。

知 事 仕事を引退して、何か活動をやりたいという方がいた時に、適切な窓口で誘導できるような制度が必要と考えるがどうか。

担当部局 県 HP のトップページにシニアのワンストップ窓口を設けており、そこから就職、ボランティアなどに誘導できる。

知 事 人生 100 年時代に対応できるよう、しっかり取り組むこと。

担当部局 了解した。

#### ■ 屋内 50m 水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業 (B52)

知 事 県民はどの程度プールを利用できるのか。

担当部局 大会が開催されていない時には 50m プールを、大会が開催されている時でもサブプールを常時利用できるようにしたい。

知 事 PFI 方式で実施する場合に想定される事業者は。

担当部局 設計から運営までいくつかの会社が一つの共同体を作ることと想定している。

## ■ ラグビーワールドカップ 2019 大会レガシー創出事業 (B58)

知 事 ラグビーワールドカップにおいてPVとボランティアはすごく成果があったので、オリンピック・パラリンピックに上手くつなげていくことが大事である。

担当部局 ラグビーワールドカップのボランティアのうち、2割の方がすでにオリンピック・パラリンピックの都市ボランティアに申し込んでいる。

ラグビーのボランティアの方々に対し、他のスポーツボランティアを紹介してよいか聞いたところ、約4割の方が情報を欲しいということであった。今後、関係課とも連携しながら情報提供を進めていきたい。

知 事 ぜひしっかり進めること。

担当部局 了解した。

## ■ 東京オリンピック・パラリンピック推進事業費 (B59)

知 事 いよいよ本年は開催の年であり、十分に取組まなくてはならない。

「Exciting SAITAMA」において何を発信していくのか。

担当部局 計画段階だが、大宮ソニックシティの第2～第5展示場において、県内市町村のPRブースや、和紙やお茶などの体験ブースを出す予定である。

知 事 暑さ対策はどうするのか。

担当部局 ライブサイトは屋外のイベント広場、屋内の第一展示場、小ホールの3か所で開催される。屋外のイベント広場では早い時間から日陰となる場所を想定している。また、ミストを設置するなどの暑さ対策に取り組む。

知 事 本県の魅力を国内外に伝える好機でもある。しっかり取り組むこと。

担当部局 了解した。

# 令和 2年度予算見積調書

課室名：共助社会づくり課  
 担当名：NPO認証担当  
 内線：2814

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B13	彩の国いきがい大学の刷新による人生100年シニア活躍支援事業費		一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	県民活動総合センター管理運営費		
事業期間	令和2年度～令和4年度	根拠法令	老人福祉法第13条(任意)			宣言項目分野施策	05 シニアの活躍推進 030728 高齢者の活躍支援		
1 事業概要	<p>高齢者及び高齢準備者などシニア層がいつまでも元気に地域社会で積極的に活躍できるよう、地域活動推進者の養成、活動情報や活動場所の提供など、シニア層の社会参加活動を支援する。</p> <p>(1) 高齢者いきがい支援事業 64,676千円                      (2) ライフデザイン科運営 7,471千円                      (3) 地域創造科運営 29,480千円                      (4) 社会デビュー支援機能 17,442千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 高齢者いきがい支援事業 64,676千円                      シニア層の多様な活動に必要な情報や活動の場を提供するため総合的な事業を行う(公財)いきいき埼玉にその経費を補助する。</p> <p>イ ライフデザイン科運営 7,471千円                      シニア層が地域で活動するための知識や技術を習得する機会を提供し、元気・自立を支援するとともに、地域の担い手となる人材を育成する。</p> <p>ウ 地域創造科運営 29,480千円                      社会デビューに直結する高度で専門的な知識を習得し、個人に寄り添うきめ細かい指導、支援を行う。</p> <p>エ 社会デビュー支援機能 17,442千円                      シニアの活躍を支援するための環境を整備する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 高齢者いきがい支援事業                      シニア層の社会活動の支援業務及び健康の維持促進のための器具設置やセミナー等の実施に係る人件費の補助。</p> <p>イ ライフデザイン科運営                      シニア層が地域で活動するための知識や技術を習得する機会を提供し、元気・自立を支援するとともに、地域の担い手となる人材を育成するライフデザイン科の運営に係る費用を補助。</p> <p>ウ 地域創造科運営                      社会デビューに直結する高度で専門的な知識を習得し、個人に寄り添うきめ細かい指導、支援を行う地域創造科の運営に係る費用を補助。</p> <p>エ 社会デビュー支援機能                      新たに専門的講座を開設するための環境整備等に対する補助。</p> <p>(3) 事業効果                      健康で社会参加意識の高いシニアを増やすとともに、地域課題の解決に取り組む優れた人材の育成が図られる。</p>						
2 事業主体及び負担区分(県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.2名=11,400千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		諸収入							
決定額	119,069	6,382					112,687	46,922	
前年額	72,147	13,358					58,789		

# 令和 2年度予算見積調書

課室名：スポーツ振興課  
 担当名：総務・施設担当  
 内線：6951

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B52	屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	県民スポーツ振興費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	スポーツ基本法第4、6、7、12、14、16、18、21条、埼玉県スポーツ振興のまちづくり条例		宣言項目分野施策	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化		
1 事業概要	アスリートの競技力向上や県民の充実したスポーツライフを推進する拠点として、屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設の整備に向けた検討を行う。  (1) 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業 5,577千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業 5,577千円 (7) 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備検討業務 有識者会議の開催、施設の詳細検討等  (2) 事業計画 ア 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業 令和2年度～ 有識者会議の開催、施設の詳細検討等  (3) 事業効果 ア 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業 ・競技力向上 ・県民の体力・健康づくりの促進 ・スポーツライフの充実					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×4.8人=45,600千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		諸 収 入							
決定額	5,577						5,577	△22,255	
前年額	27,832	3					27,829		

# 令和 2年度予算見積調書

課室名：ラグビーワールドカップ2019大会課  
 担当名：広報・普及担当  
 内線：6876 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B58	ラグビーワールドカップ2019大会レガシー創出事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	ラグビーワールドカップ2019大会レガシー創出事業費		
事業期間	平成27年度～令和3年度	根拠法令	なし	宣言項目分野施策			11 061350	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化スポーツの振興		
1 事業の概要	大会後のレガシー創出のため、子ども世代へのラグビーの普及及びグラウンド整備などを行う。 (1) 子ども世代へのラグビーの普及・啓発事業 5,000千円 (2) 西第1多目的広場グラウンド整備 450,166千円 (3) 移転調整に係る事務費 1,000千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 子ども世代へのラグビーの普及・啓発事業 5,000千円 県ラグビー協会が行う子ども世代へのラグビー普及事業に対する補助 ・小学生へのタグラグビーの普及促進 ・中学生への放課後ラグビー教室 ・プロチーム等と連携したラグビーの普及 など イ 西第1多目的広場グラウンド整備 450,166千円 子ども世代へのラグビー普及の拠点としてグラウンド等を整備 ウ 移転調整に係る事務費 1,000千円 パナソニック ワイルドナイツ本拠地移転に係る事務費 (2) 事業計画 ア 令和2年度 子ども世代へのラグビー普及拠点の整備 イ 令和3年度 パナソニック ワイルドナイツによる子ども世代へのラグビーの普及啓発 (3) 事業効果 ア 熊谷ラグビー場の利活用促進 イ ラグビー競技人口及びファン層の拡大 ウ 熊谷スポーツ文化公園のにぎわい創出						
2 事業主体及び負担区分	(1) (県1/2) 事業者1/2 (2) (3) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	(2) の一部 地域活性化事業債 県債償還時交付税措置30%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×4人=38,000千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		諸収入	県債							
決定額	456,166		449,000					7,166	△529,596	
前年額	985,762	701						985,061		

# 令和 2年度予算見積調書

課室名：オリンピック・パラリンピック課  
 担当名：総務・企画担当  
 内線：2893

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B59	東京オリンピック・パラリンピック推進事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	東京オリンピック・パラリンピック推進事業費		
事業期間	平成26年度～令和2年度	根拠法令	なし				宣言項目分野施策	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化	
1 事業の概要				5 事業説明						
東京2020大会の本番を迎え、本県独自イベントや聖火リレーを実施するとともに、ボランティアやホームステイなど「世界に誇れるおもてなし」で観戦客をお迎えする。 (1) 東京オリンピック・パラリンピック推進事業管理運営費 29,995千円 (2) 2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会事業費 1,599,265千円 ア 気運醸成事業 1,254,417千円 イ ボランティア事業 250,670千円 ウ キャンプ誘致・宿泊対策事業 23,725千円 エ 推進委員会運営費 70,453千円				(1) 事業内容 ア 東京オリンピック・パラリンピック推進事業管理運営費 29,995千円 庁内推進会議等の運営や県広報紙、ホームページでの情報発信、国・組織委員会・市町村等との連携・調整 イ 2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会事業費 1,599,265千円 (ア) 気運醸成事業：大会期間中イベント、聖火リレー、競技体験、広報 1,254,417千円 (イ) ボランティア事業：ボランティア活動の運営、環境美化 250,670千円 (ウ) キャンプ誘致・宿泊対策事業：ホストタウン交流事業、ホームステイの運営 23,725千円 (エ) 推進委員会運営費：総会等の開催、事務局費、報告書、記録映像の作成 70,453千円 (2) 事業計画 大会開催期間 オリンピック：2020年7月24日～8月9日 パラリンピック：2020年8月25日～9月6日 大会開催に向け、次の事業を行う。 ・大会期間中イベント(7～9月) ・聖火リレー(7・8月) ・ボランティア活動の運営(4～9月) ・ホストタウン交流事業の実施(4～9月) ・関係機関等との連絡・調整(随時) (3) 事業効果 ・東京2020オリンピック・パラリンピックの競技が県内で開催されることを認知している県民の割合が100%になる。 ・オリンピック4競技(バスケットボール、サッカー、ゴルフ、射撃)、パラリンピック1競技(射撃)の会場を抱える県として、ワンチーム埼玉で準備、受入体制を整えることで、東京大会の成功とレガシーの創出につなげていく。						
2 事業主体及び負担区分(県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×33人=313,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		諸 収 入								
決定額	1,629,260	275						1,628,985	1,307,755	
前年額	321,505	177						321,328		